

2024年6月28日

各 位



山梨県民信用組合
理事長 南 邦男

決算概況(見込み)について

山梨県民信用組合では、2024年3月期決算概況を下記の通り、公表させていただきます。

記

(別紙資料)

別紙 決算概況 (2024年3月期見込み)

以 上

(問合せ先)
総務人事部 総務課
TEL 055-228-5151 (代表)

2024年6月28日

山梨県民信用組合

2024年3月期決算見込みについて

去る1月19日に公表いたしました元職員による不祥事件について、第三者委員会を設置し調査を行ってまいりましたが、第三者委員会による調査が6月以降も継続していることから、調査結果報告書を総代会(2024年6月28日)までに受けることができませんでした。

第三者委員会からは、「現時点においては類似事案で当組合の財務の健全性に重大な影響を与えるものは、新たには判明していない」旨の説明を受けております。一方、監査法人からは、第三者委員会の調査結果が決算に影響を与えることのないことが正式な最終報告書により確認できない限り、監査報告書を提出できないとの見解を受け、総代会において決算承認を受けることができませんでした。

このため、本総代会では2024年3月期決算について、見込みとして公表させていただくこととなりました。

第三者委員会の調査完了は本年8月を見込んでおり、調査結果報告書が提出される予定です。その後、必要な手続きを経て、遅くとも年内に臨時総代会を開催し、2024年3月期決算の承認を受ける予定です。

決算概況(2024年3月期見込み)

1. 損益の状況

単位:百万円

	2024年3月期	2023年3月期	対前期増減	
			金額等	比率(%)
経常収益	4,892	5,309	△ 416	△ 7.83
償却債権取立益	65	571	△ 504	△ 88.26
その他の臨時収益	433	382	51	13.35
経常費用	4,177	4,865	△ 688	△ 14.14
うち不良債権処理額	1,231	1,470	△ 239	△ 16.25
経常利益	715	443	272	61.46
業務粗利益	3,631	3,904	△ 272	△ 6.98
うち資金利益	3,999	3,967	31	0.79
うち貸出金利息	3,527	3,455	72	2.10
うち有価証券利息配当金	241	263	△ 22	△ 8.57
うち預金積金利息	104	106	△ 1	△ 1.39
うちその他業務利益	△ 282	13	△ 296	△ 2,122.98
うち国債等債券損益	△ 256	0	△ 256	-
経費	2,928	2,931	△ 3	△ 0.08
うち人件費	1,591	1,644	△ 52	△ 3.19
うち物件費	1,177	1,142	34	3.01
一般貸倒引当金繰入額	△ 761	△ 44	△ 717	△ 1,624.41
コア業務純益	958	972	△ 14	△ 1.40
税引前当期純利益	422	260	162	62.61
法人税等調整額	△ 3	0	-	-
当期純利益(税引後)	414	248	166	66.99

- 本業での収益力を顯わすコア業務純益につきましては、貸出金利息が前期比72百万円増加し、経費合計も同比△3百万円と本店・本部移転に伴う費用増加による影響を抑えることができましたが、新商品取扱いに係る費用34百万円を新たに計上したことから、前期比14百万円減少の9億58百万円を計上しました。
- 経常収益につきましては、過去に実施した不良債権処理に関連した収益が減少したことから、前期比では4億16百万円減少の48億92百万円を計上しております。
- 経常費用につきましては、貸倒実績率の低下による一般貸倒引当金の取崩しや不良債権処理額の減少を主な要因として、前期比6億88百万円減少の41億77百万円を計上しました。
- 以上の結果、経常利益につきましては、前期比2億72百万円増加の7億15百万円を計上しました。
- 当期純利益につきましては、上記のほか、本店・本部建物の取壊しに係る引当を実施したものの、前期比1億66百万円増加の4億14百万円を計上し、3期連続での黒字を確保しております。

2. 預金・貸出金の状況

単位:百万円

	2024年3月期	2023年3月期	対前期末増減	
			金額等	比率(%)
預 金 残 高	391,384	400,328	△ 8,944	△ 2.23
貸 出 金 残 高	198,876	205,308	△ 6,432	△ 3.13
うち中小規模事業者向け	118,141	122,084	△ 3,943	△ 0.03
預 貸 率 (期 末)	50.81	51.28	△ 0.47	

- ゼロゼロ融資の返済が令和5年度から本格化したことにより、無利息期間経過後の繰上償還が1年間で44億円、また定例返済も23億円ほどにのぼることから預金・貸出金とともに残高が大きく減少しました。
- なお、当組合の重要な使命である中小規模事業者向け貸出金につきましては、上記の影響から前期末比で39億円減少しました。

3. 不良債権(金融再生法ベース)

単位:百万円

	2024年3月期	2023年3月期	対前期末増減	
			金額等	比率(%)
a 総与信額	199,328	205,757	△ 6,429	△ 0.03
破産更生債権など	5,307	4,644	663	0.14
危険債権	7,675	6,732	943	0.14
要管理債権	626	354	272	0.77
b (不良債権額)	13,609	11,731	1,878	0.16
b÷a ×100 (不良債権比率 %)	6.82	5.70	1.12	
(不良債権の保全率 %)	87.29	87.86	△ 0.57	
正 常 債 権	185,718	194,025	△ 8,307	

- 不良債権は、引き続き債権売却等による回収や経営改善支援による債務者区分の良化に注力したものの、コロナ融資関連先を中心にランクダウンが前期比で増加したことを要因に、前期比で金額が1,878百万円、比率が1.12P增加しました。

4. 自己資本比率

	2024年3月期	2023年3月期	対前期末増減
自己資本比率(%)	7.65	7.95	△ 0.30P

●自己資本比率につきましては、当期純利益が増加したものの、一般貸倒引当金の減少を主因に、前期末比0.30P減少し、7.65%となりましたが、国内基準金融機関に求められている4%を大きく上回る十分な水準を確保しております。

5. 2025年3月期見込み

(単位:百万円)

	2025年3月期
経常収益	4,693
経常利益	493
コア業務純益	943
当期純利益	566

6. 本店営業部・本部建物新築の経過について

●築後50年が経過し、老朽化が進んでいる本店営業部・本部建物につきまして、令和8年5月の完成を目指し、現所在地に建て替えることを決定しております。現在、近隣の皆さんにご迷惑が掛からないよう十分配慮しながら、建物の解体工事を進めております。当組合の「シンボルタワー」として、省エネ・耐震性はもとより、次世代に向けたDXやITに対応したインフラを備えた県内屈指の最新型店舗となる予定です。



以上